

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~2日	6月 ~9日	6月 ~16日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	15	8	7
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	13	13 (15)	14
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	1	0	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	4	1	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	2	5	7
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0 (1)	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第24週(6月10日~6月16日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	1	2	1		3		2
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					1		2
四類	10	E型肝炎	1					1		
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1			1				
		日本紅斑熱	4			4				
		レジオネラ症	4	1		1		1	1	
五類	10	後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1						1	
		百日咳	1					1		
		梅毒	7					6		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、鞆野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 手足口病

定点当たり8.82人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。第23週に広島市保健所管内で定点当たり5.59人と警報開始基準値(定点当たり5)以上となったため、広島県は6月13日、県内に「手足口病警報」を発令しました。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 咽頭結膜熱

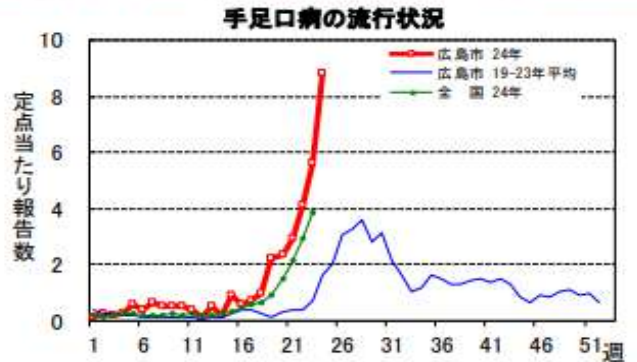
定点当たり0.91人の報告があり、前週の約1.5倍に増加しました。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.45人の報告があり、多い状況が続いています。咳エチケットや手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.69人の報告がありました。前週と比べるとほぼ横ばいですが、ゴールデンウィーク以降ゆるやかな増加傾向となっており、注意が必要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね
												↑	↓	
インフル	インフルエンザ	4	0.11	0.38		小児科	ヘルパンギーナ	23	1.05	0.65		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	94	2.69		→		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.05		増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	RSウイルス感染症	23	1.05	1.40	→		急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	20	0.91	0.48	↗		流行性角結膜炎	11	1.38	0.38	↘	横ばい	↔	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	3.45	1.60	↗		細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。		
	感染性胃腸炎	133	6.05	4.47	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-		インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)		
	水痘	7	0.32	0.22			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	-		小児科定点数		
	手足口病	194	8.82	1.60	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数		
	伝染性紅斑	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		基幹定点数		
	突発性発しん	4	0.18	0.41								(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)		

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	47	20歳代・推定感染地域:国外、60歳代、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	20歳代・O157・市外
4	E型肝炎	1	1	60歳代
4	レジオネラ症	1	9	90歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	1	20歳代・感染者・推定感染地域:国外
5	梅毒	6	64	20歳代・2人、30歳代・3人、60歳代・1人
5	百日咳	1	2	10歳代